

『もみじリレーションシップバンキングプラン【平成19年度～21年度】』

平成19年度の進捗状況

平成20年5月15日

もみじ銀行

1. YMFGリレーションシップバンキングの基本方針

2. 取組みにおける「3つの柱」

3. 平成19年度における進捗状況

- ①お取引先支援の一層の強化
- ②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
- ③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

4. 地域貢献情報

- (1) 地域・お客様・YMFGが共存共栄していくためのリレーションづくりに全力を尽くしてまいります。
- (2) 地域のお客様に、その取組み・実績について適切な情報開示を行ってまいります。
- (3) グループの取組みとして「3つの柱」を定め、その柱をベースに山口銀行・もみじ銀行において具体的な取組みを行ってまいります。
 - ① お取引先支援の一層の強化
 - ② お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
 - ③ 地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

※上記方針に基づく取組みは、中期経営計画(YMFGファーストプラン)における取組みの一環として実践してまいります。

当行のリレーションシップバンキングプランは
YMFGの基本方針のもとに策定・実践してまいります。

①お取引先支援の一層の強化

創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生といった、取引先の成長段階に応じた支援をさらに強化してまいります。

②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資や、中小企業の資金調達手法の多様化への対応を進めると共に、地域の利用者ニーズに対応するための人材育成に注力してまいります。

③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

地域再生推進のための産学公連携等を推進します。また、利用者の声を把握し、地域活性化につながる多様なサービス提供につなげてまいります。

①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
<p>創業・新事業支援機能の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人ひろしまベンチャー育成基金への協賛金拠出と助成金交付希望先の募集等の運営に協力しました。 ・社団法人中国地域ニュービジネス協議会、独立行政法人中小企業基盤整備機構、財団法人ちゅうごく産業創造センター等が主催する「中国地域産学官交流会」等へ参加し、連携を強化しました。 ・山口銀行と共同で『食』をテーマとしたビジネスマッチングフェアを開催しました。広島、山口、福岡の各県のほか中国青島などから企業43社が出展し、約1,200名のご来場をいただきました。 ⇒当日商談成約件数…25件、継続商談件数…133件 <p>◎<u>創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資商品の実績</u> ⇒平成19年度中…130件、699百万円</p>

①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
経営改善支援の取組み	・本部スタッフの支援先訪問や、外部専門家との連携による経営改善計画の策定等により、再生支援先への経営改善支援に取り組みました。

経営改善支援等の取組み実績【平成19年度】

		期初債務者数 A	うち経営改善 支援取組み先 α	αのうち		経営改善支援 取組み率 $= \alpha / A$	ランクアップ率 $= \beta / \alpha$	再生計画 策定率 $= \delta / \alpha$
				αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数 β	αのうち再生 計画を策定 した先数 δ			
要注意 先	うちその他要注意先	5,254	9	0	0	0.2%	0.0%	0.0%
	うち要管理先	196	25	4	6	12.8%	16.0%	24.0%
	破綻懸念先	1,126	64	4	0	5.7%	6.3%	0.0%
	実質破綻先	248	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	破綻先	69	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	6,893	98	8	6	1.4%	8.2%	6.1%

①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none">・中小企業再生支援協議会へ人材を派遣（サブマネージャー、1名）し、ノウハウの吸収を図りました。また、同協議会へ2社の再生計画を持ち込み、そのうちが1社が承認されました。・整理回収機構の企業再生スキームを活用した取組みを実施しました。・当行のプライベートファンドの委託サービスに人材を派遣することで、事業再生や不良債権処理等のノウハウの吸収を図りました。・専門性の高い分野にノウハウを持つサービスやファンドとの連携を強化し、情報の収集に努めました。

②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

項目	具体的取組み												
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「もみじ機械担保ローン」の取扱いを開始しました。 ・従来の商品「事業者用スピードローン」の内容を見直し、新たな商品「もみじスーパーサポートローン」の取扱いを開始しました。 ・「もみじ機械担保ローン」の取扱いを開始しました。 ・動産・債権譲渡担保融資を推進しました。 ⇒19年度実績 <table border="1" data-bbox="705 935 1506 1235"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>融資額(百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売掛債権担保融資</td> <td>153件</td> <td>692</td> </tr> <tr> <td>動産担保融資</td> <td>1件</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>154件</td> <td>717</td> </tr> </tbody> </table>		件数	融資額(百万円)	売掛債権担保融資	153件	692	動産担保融資	1件	25	合計	154件	717
	件数	融資額(百万円)											
売掛債権担保融資	153件	692											
動産担保融資	1件	25											
合計	154件	717											

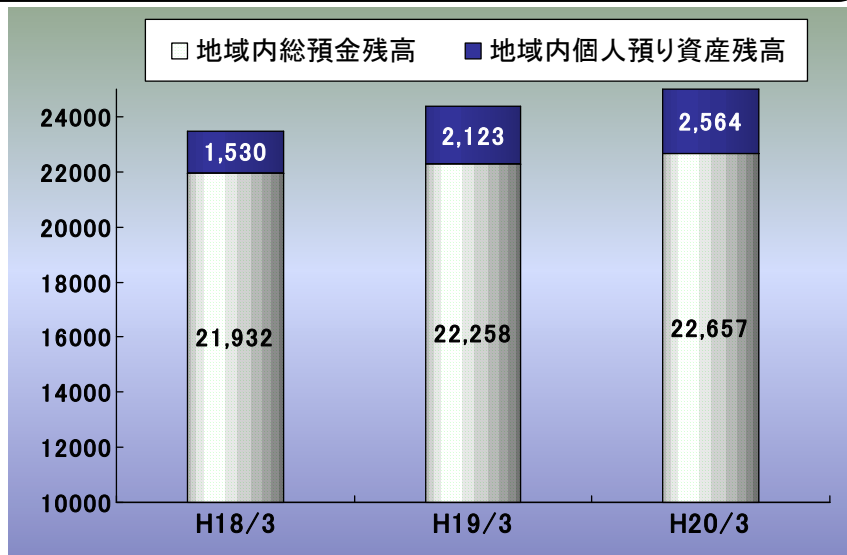
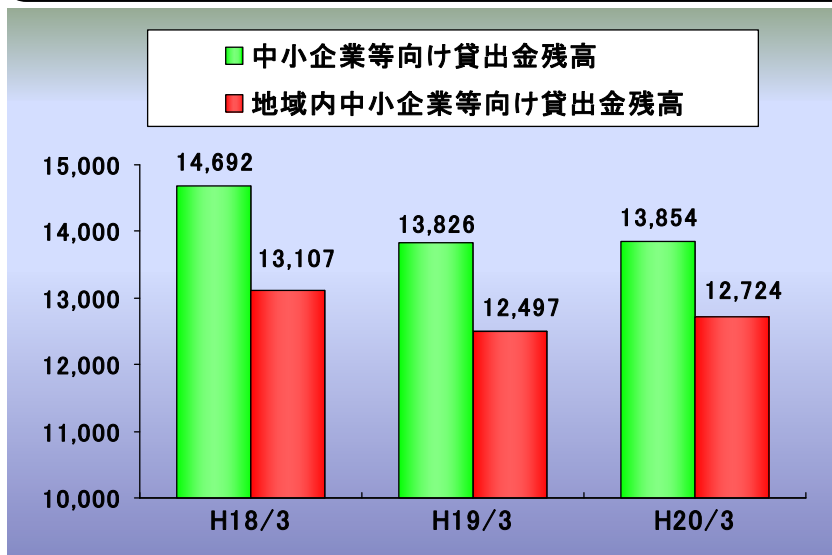
②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

項目	具体的取組み
<p>中小企業の資金調達手法の多様化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローン等の提案型営業を積極的に展開しました。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒取引先中小企業の設備投資計画を支援するためのシンジケートローンを実行 ⇒地公体の市街地再開発事業に関連し、SPC向けのノンリコースローンを実行 ・手形債権の流動化について新たに2社と契約し、取引先の資産のオフバランスニーズに対応しました。
<p>地域の利用者ニーズに対応するための人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手行員の融資提案力強化を目的とした行内研修を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「若手渉外スキルアップセミナー」(22名 計7回) 「融資渉外スキルアップ研修」(18名 計2回 山口銀行と共同開催) 「法人渉外研修会」(27名 計2回) ・第二地方銀行協会が主催する目利き・経営支援・再生支援研修へ、営業店の渉外係、融資係を計12名派遣しました。

③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

項目	具体的取組み
<p>地域再生推進のための各種施策との連携等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産学官連携推進組織である「中国地域産学官コラボレーション」主催の産学マッチング会への参加を取引先に呼びかけ、当行取引先3社が参加しました。これにより、取引先に大学、研究機関等との個別相談の機会を提供しました。 ・PFI法に基づく事業募集により設立されたSPCに対して、プロジェクトファイナンス手法による融資を実行しました。
<p>利用者の声を把握するための取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「CS(顧客満足度)向上」と「利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立」に向けて、広島県内の利用者を対象に「利用者満足度アンケート」を実施し、その結果を当行ホームページに掲載しました。 ・本部に報告があった苦情等の事例を「苦情・クレームニュース」として毎月営業店に還元しました。

もみじ銀行は地域貢献への取組み結果の一つとして、地域のお客さまとのお取引状況について、情報開示いたします。



○中小企業等向け貸出残高は減少傾向にありましたが、平成20年3月末では減少に歯止めが掛かり1兆3,854億円となりました。

○地域内中小企業等向け貸出金残高も減少傾向に歯止めが掛かり、1兆2,724億円となりました。

○地域内総預金残高は年々増加しており、平成20年3月末時点で2兆2,657億円となりました。

○地域内個人預り資産残高も年々増加しており、平成20年3月末時点で2,565億円となりました。

※単位: 億円

※地域内の計数は、広島県内の計数。

※中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社、または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人。

※個人預り資産は、債券(額面ベース)・投資信託(額面ベース)・個人年金保険の合計値。